

令和2年度事業報告

I. 事務報告

1. 会議

(1) 理事会

- ① 第1回：令和2年5月12日に開催すべく準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、各理事・監事に書面による決議に切り替える旨の同意または異議なしを得て会議は中止とし、定款第38条の規定に基づき、下記議案が書面により決議された。（決議があったとみなされた日：令和2年5月19日）

第1号議案 令和元年度事業報告に関する件

第2号議案 令和元年度収支決算報告に関する件

第3号議案 育英費支給者に関する件

第4号議案 令和2年度定時評議員会開催に関する件

報告事項

- ・令和2年度就農希望者への奨学金受給申請の受け付けの状況
- ・植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受け付けの状況
- ・第35回報農会シンポジウムの準備の状況
- ・理事長の職務の執行の状況

- ② 臨時：定款第38条の規定に基づき、下記議案が書面により決議された。（決議があったとみなされた日：令和2年6月5日）

議案 シンポジウム及び功績者表彰式・祝賀会の開催等に関する件

- ③ 臨時：定款第38条の規定に基づき、下記議案が書面により決議された。（決議があったとみなされた日：令和2年11月6日）

議案 専門委員会委員の選任に関する件

- ④ 臨時：令和2年12月15日、小平市花小金井南町1-12-11、公益財団法人報農会事務所におけるオンライン会議により、報告及び意見交換を行った。

議題 1) 理事長の職務執行状況の報告について

2) 令和3年度シンポジウム及び功績者表彰式・祝賀会の開催について

- ⑤ 第2回：令和3年3月9日、小平市花小金井南町1-12-11、公益財団法人報農会事務所におけるオンライン会議により、下記議案が決議された。

第1号議案 令和3年度事業計画に関する件

第2号議案 令和3年度収支予算に関する件

第3号議案 役員報酬に関する件

第4号議案 第36回功績者表彰に関する件

報告事項

- ・第36回報農会シンポジウムの準備の状況
- ・理事長の職務の執行の状況

(2) 評議員会

定 時：令和 2 年 5 月 19 日付け書面決議による第 1 回理事会において会議の中止を決定し、定款第 22 条の規定に基づき書面による決議が行われた。（評議員会の決議があったとみなされた日：令和 2 年 6 月 8 日）

- | | |
|---------|---|
| 第 1 号議案 | 令和元年度事業報告に関する件 |
| 第 2 号議案 | 令和元年度収支決算報告に関する件 |
| 第 3 号議案 | 評議員の選任に関する件 |
| 報告事項 | ・ 第 35 回功績者表彰の選考の状況
・ 令和 2 年度育英費受給申請の受け付けの状況
・ 令和 2 年度就農希望者への奨学金受給申請の受け付けの状況
・ 植物防疫に関する学術・技術の交流に関する援助申請の受け付けの状況
・ 第 35 回報農会シンポジウムの準備の状況 |

(3) 監査会

令和 2 年 4 月 17 日、小平市花小金井南町 1-12-11、公益財団法人報農会事務所において令和元年度事業並びに収支決算について監査を受けた。

2. 役 員

令和 3 年 3 月 31 日現在の役員及び評議員は、別紙役員及び評議員等名簿のとおりである。

II. 事 業 報 告

1. 植物防疫に関する学術・技術分野における専門家の育成

(1) 育英費の支給

次の 4 名の大学院生に対しそれぞれ年額 36 万円の育英費を支給した。

- 富田 駿（東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程・指導教員：横田 健治）
研究テーマ『きのこを腐敗させる毒素 tolaasin に対する *Microbacterium foliorum* NBRC 103072^T による解毒機構』
- 早野 敬大（岐阜大学大学院自然科学技術研究科修士課程・指導教員：景山 幸二）
研究テーマ『河川に生息する植物病原性卵菌類の分布に関する研究』
- 内藤 圭吾（鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程・指導教員：上中 弘典）
研究テーマ『植物の病害抵抗性を誘導する新素材キチンナノファイバーの作用機構の解明』
- 岡本 雄太（宮崎大学大学院農学研究科修士課程・指導教員：安達 鉄矢）
研究テーマ『土着天敵タバコカスミカメの生活史の研究』

(2) 就農希望者への奨学金の贈呈

次の 4 名の農業大学校在生に対し優秀賞は 10 万円、奨励賞は 5 万円の奨学金と賞状をそれぞれ贈呈した。

優秀賞

○窪田 宗祐（高知県立農業大学校・指導教員：谷岡 英明）

研究テーマ『‘あきづき’梨への環状剥皮及び植物調整剤の使用によるコルク状果肉障害の軽減対策の検討』

奨励賞（以下3名）

○工藤 蒼史（青森県営農大学校・指導教員：木下 均）

研究テーマ『だいこん栽培におけるキスジノミハムシの効率的な防除作業の検討』

○深澤 嘉宣（栃木県農業大学校・指導教員：鷲尾 一広）

研究テーマ『なし「豊水」における玄米アミノ酸微生物農法が病害虫の発生や果実品質に及ぼす影響』

○植田 暁士（熊本県立農業大学校・指導教員：竹下佐和子）

研究テーマ『病害抵抗性を有する冬春トマトの品種比較』

2. 植物防疫に関する学術・技術の交流

関係学会等に対する援助：次の1名に会議開催経費の一部として10万円を援助した。

○高梨 琢磨（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）：第7回生物音響学会年次研究発表会（令和2年12月4日、日本・オンライン会議）

3. 植物防疫の発展に寄与した功績者の表彰

（1）第35回功労賞の贈呈

令和2年9月24日に「北とびあ」天覧の間で予定していた表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等により中止となったため、里見 健男、瀬崎 滋雄、中田 榮一郎、那波 邦彦、橋本 光司の5氏には功労賞（賞状、正賞、副賞）を郵送した。

（2）第36回功労賞受賞者の選考

令和3年2月2日開催の功績者表彰候補推薦委員会において、次の候補者3名を選考した。

浅利 覚、 富川 章、 中須賀孝正

4. 植物防疫に関する第35回公開シンポジウムの開催

『植物保護ハイビジョンー2020』 “国際植物防疫年 2020 に明日の可能性を探る〈新たな試みでさし迫る難題に挑む〉”をテーマとして、以下の5課題で9月24日に「北とびあ」つつじホールで開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等により中止となった。

○国際植物防疫年及び植物検疫の現状と課題 農林水産省植物防疫課 重見 鉄平

○埼玉県の鳥獣害の実態と対策について 埼玉県農業技術研究センター 湯村 英明

○AIを活用した病害虫の画像診断 農研機構農業情報研究センター 竹谷 勝

○温暖化に対応した山形県庄内地方におけるカンキツ適応性試験の取組み

山形県庄内総合支庁農業技術普及課 安孫子裕樹

○雑草を活かして雑草を防ぐ有機稲作

舘野かえる農場 舘野 廣幸

公益財団法人 報 農 会
役員及び評議員等名簿

令和3年3月31日現在

理事長	田付貞洋	評議員	大澤貫寿
理事	中村幸二	〃	阪本剛
〃	藤田肖子	〃	館野洋一郎
〃	堀江博道	〃	寺岡徹
監事	上山功夫	〃	早川泰弘
〃	大森茂	〃	原田孝則
顧問	岩本毅	〃	與語靖洋
〃	永田徹	(五十音順)	
事務局長	小島恒夫		